

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	尾道市立日比崎小学校
-----	------------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 給食の完食が難しい。（残食率・・・1.3%）
- 朝ごはんの摂取率が低い。（毎日朝ごはんを食べている児童・・・92%）
- 給食を楽しみにしている児童が少ない。（給食を楽しみにしている児童・・・75%）

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- もりもり週間で賞状を獲得するクラスの割合 80%以上
- 朝ごはんを毎日食べる児童 94%以上
- 給食を楽しみにしている児童 80%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 学校全体での継続的な取組

（1）もりもり週間の取組

毎月食育の日（19 日）前後の 1 週間をもりもり週間とし、クラス全員で完食しようという取組を行った。昨年度の反省から、学年に応じた目標の設定ができるよう、金・銀・銅の 3 種類の賞にそれぞれの規準を設け、全学年が意欲的に取り組めるよう工夫した。



めざせ！もりもり週間 賞状ゲット！！

ルール

- もりもり週間の間に何回完食できたかで賞状の色が変わります。

	低学年	中学年	高学年
賞金	3回以上	4回以上	全日
賞銀	2回	3回	4回
賞銅	1回	2回	3回

- もりもり週間の間 毎日給食を12:30までに準備できたら1ランク昇格できます。

（2）食に関する指導の年間指導計画の活用改善

食に関する指導の年間指導計画に☺のマークを入れ、栄養教諭の関わる単元を明確にした。

【取組 2】（テーマ） 給食室と連携した取組

（1）給食指導

学期ごとに実施している給食指導を調理員さんと連携し、実際に調理道具を見せながら給食をどのような気持ちで作っているか伝えるなど工夫した。

（2）星形にんじんの導入

給食時間を楽しみにしてもらえるよう、月ごとに給食のにんじんを星形に切る日を設けた。

（3）掲示の工夫

給食室の様子をビデオや写真で紹介し、給食に興味関心を持たせた。



【取組3】(テーマ) 自立への手立て

(1) 家庭科への積極的な参加

5・6年生の家庭科に栄養教諭が参加し、栄養バランスの知識や調理技術を児童が習得できるよう指導した。

(2) お手伝いシートの活用

懇談資料に朝ごはんの大切さに加え、お手伝いシートを配布し、家庭で活用してもらえるように呼びかけた。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

(1) 情報発信の工夫

市内統一して、配布資料や放送資料を作成し活用した。また、校内掲示やホームページにひろしま給食を取り入れた。

(2) 給食委員会の取組

給食委員会で各クラスにひろしま給食の呼びかけを行ったり、紹介ワークシートを作成させたりすることで、ひろしま給食に興味をもたせる工夫をした。



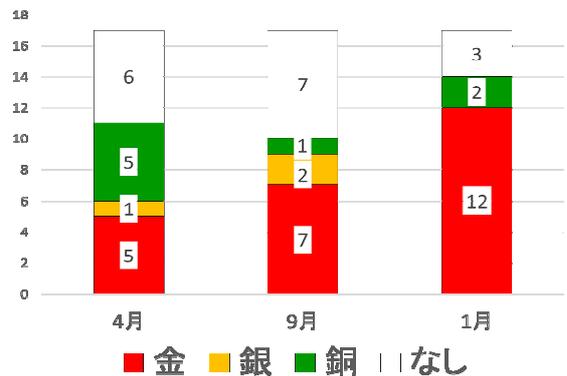
5 取組に対する成果と課題

【成果】

もりもり週間で賞状を獲得したクラスが17クラス中14クラスと、目標の80%以上を達成することができた。

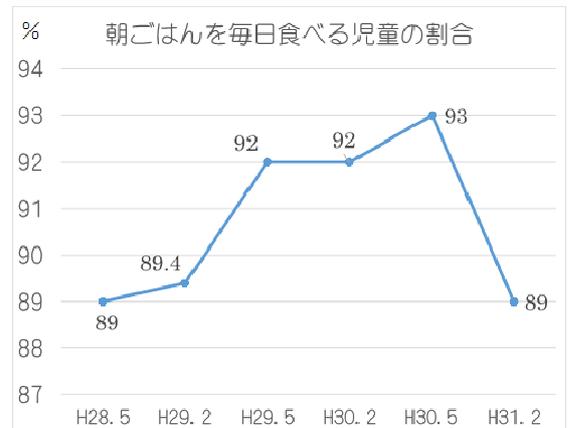
給食時間が楽しみだと解答した児童が75%から82%に増加した。

もりもり週間 賞状獲得クラス



【課題】

3年前から実施している全校児童を対象の食生活アンケートの結果をみると、近年上昇傾向であった朝ごはんの摂取状況が低下している。朝ごはんの指導には家庭との連携が大切であることから、今後個別指導も含めた指導方法を工夫していく必要がある。



6 今後の取組に向けた改善方策について

朝ごはんの摂取率を上げるためには、児童の自立支援と家庭との連携が大切であるため、児童の発達段階に応じた知識と技能の指導を計画的に実施することが必要である。また、夏休み等を活用したお手伝いシートの活用など実践への手立てを工夫していきたい。